

米国 受注回復基調は持続(09年9月製造業受注)

発表日：2009年11月4日(水)

～機械・ソフトウェア投資の先行指標は減速～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛(おおみさわ たけし)

03-5221-4526

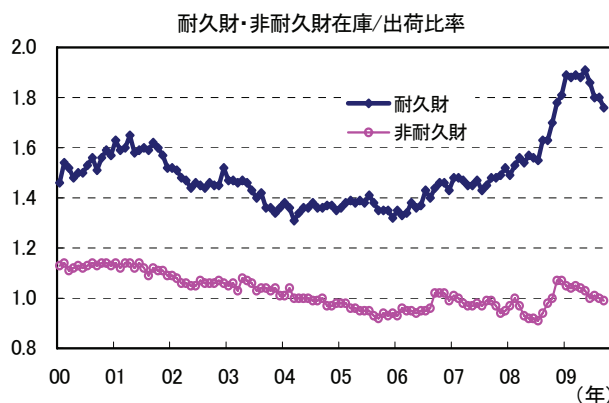
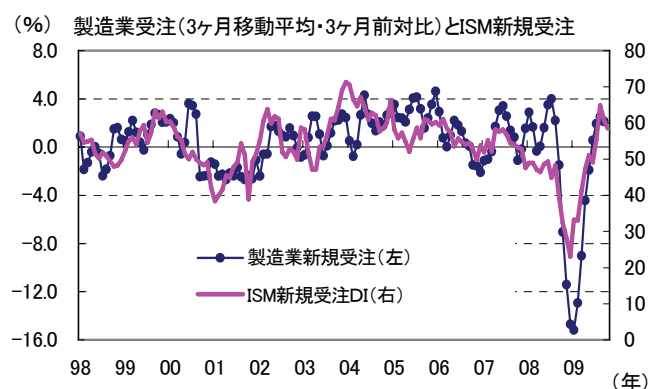
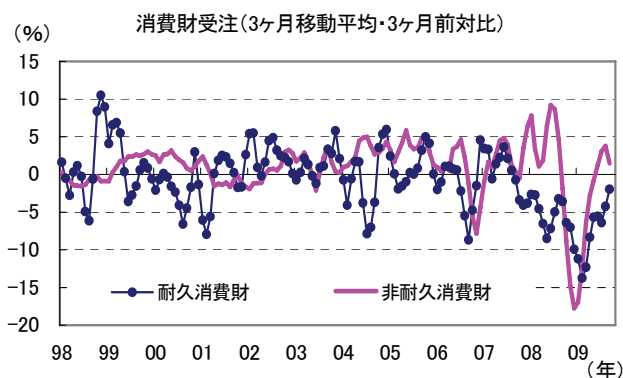
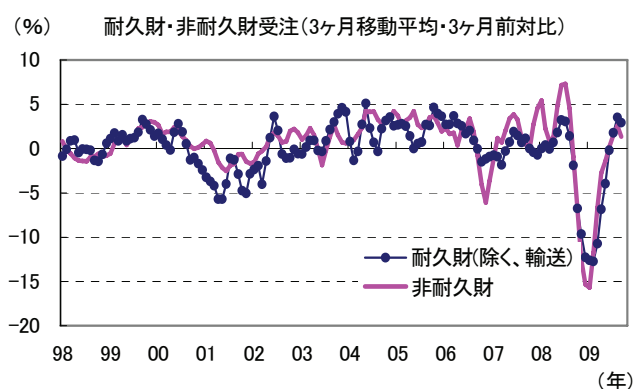
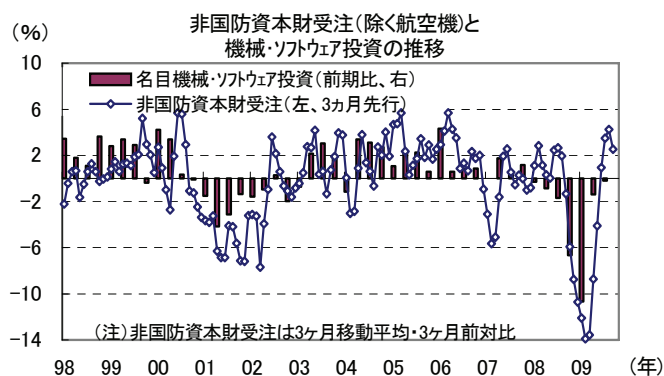
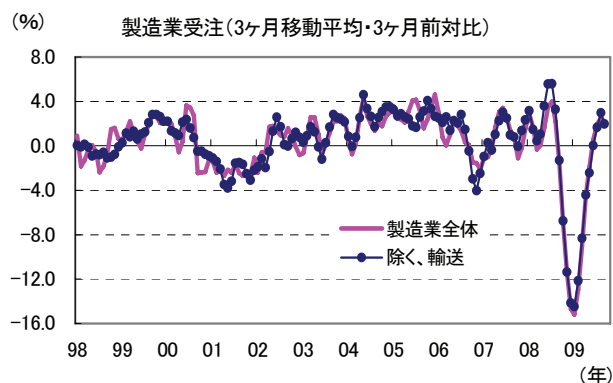
- 9月の製造業受注は前月比+0.9%（前年同月比▲17.1%）と、前月同▲0.8%（同▲20.4%）から増加に転じ、ほぼ市場予想(前月比+0.8%)通りの結果となった。耐久財、非耐久財ともに前月比で受注は増加し、耐久財では国防航空機・同部品や自動車・同部品、機械、一次金属、加工金属が受注を押上げた。製造業受注の前月比での増加は4月以降の6ヵ月中5ヵ月と回復基調が持続している。同統計は単月での変動が大きいので、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で均してみると、+2.1%（前月+2.5%、前々月+1.9%）と国内外の景気対策による景気の持ち直しと、在庫調整の進展により回復基調が続いている。
- 機械・ソフトウェア投資の先行指標である非国防資本財受注（航空機除く）は前月比+1.8%（前年同月比▲16.9%）と前月同▲1.0%（同▲21.2%）から3ヵ月ぶりに増加した。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で均してみると、+2.5%（前月同+4.3%、前々月同+3.5%）と伸びは鈍化しており、低水準の稼働率を背景に10-12月期の名目機械・ソフトウェア投資は弱含むだろう。
- 耐久財受注の内訳をみると、一次金属(前月比+0.8%)、加工金属(同+0.6%)は金属価格の上昇に加え、在庫調整の進展により受注は上向いている。機械(同+7.9%)は景気対策の効果も現れているとみられ、受注増が続いている。コンピュータ・電子製品(同▲0.4%)、電気製品・家電(同▲1.7%)は2ヵ月連続で減少したが、均して見ると緩やかな拡大基調にある。輸送機器(同+2.0%)は国防航空機・同部品(同+14.0%)の上振れが主因。家具・同関連製品(同▲1.7%)は住宅部門低迷の影響を受け、回復の兆しは見えていない。
- 先行きについては、国内外の景気持ち直しや在庫調整の進展に加えて、景気対策の効果により3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で10年1-3月期にかけて増加基調は続くものの、自動車買い替え支援策打ち切りの影響、低水準にある設備稼働率を受けた設備投資の不振、雇用環境の悪化による消費の脆弱さを背景に、受注の回復は緩やかなものに留まるとみられる。

製造業受注 (Manufacturers' Shipments, Inventories and Orders)

	出荷			受注						在庫		
	製造業		非国防資本財	製造業		非国防資本財				製造業		非国防資本財
	除く輸送機器	除く航空機		除く輸送機器	除く航空機	除く輸送機器	除く航空機	除く輸送機器	除く航空機	除く輸送機器	除く航空機	
08/10	▲3.6	▲3.4	▲3.7	▲6.0	(▲6.3)	▲5.1	(▲3.3)	▲6.7	(▲6.1)	▲0.6	▲1.0	+0.3
08/11	▲6.5	▲6.8	▲1.3	▲6.5	(▲13.8)	▲6.0	(▲10.8)	+1.1	(▲5.1)	▲0.5	▲1.1	+0.0
08/12	▲3.3	▲3.9	+0.1	▲4.9	(▲19.5)	▲5.4	(▲16.1)	▲5.9	(▲14.6)	▲1.9	▲2.8	+0.5
09/01	▲2.6	▲2.4	▲9.4	▲3.5	(▲20.5)	▲2.4	(▲17.8)	▲12.3	(▲24.5)	▲1.1	▲1.2	▲0.8
09/02	▲0.5	▲0.6	▲0.2	+0.7	(▲19.7)	+0.5	(▲16.1)	+4.1	(▲20.6)	▲1.3	▲1.5	▲0.9
09/03	▲1.8	▲2.2	▲1.7	▲1.9	(▲22.3)	▲2.1	(▲20.0)	▲1.4	(▲20.9)	▲1.2	▲1.2	▲1.6
09/04	▲0.5	▲0.5	▲2.9	+0.5	(▲22.9)	▲0.2	(▲22.3)	▲3.5	(▲26.0)	▲1.2	▲1.5	▲1.2
09/05	▲0.8	▲0.0	▲0.4	+1.1	(▲22.8)	+0.9	(▲22.3)	+4.3	(▲22.6)	▲0.8	▲0.9	▲1.2
09/06	+1.8	+1.9	+1.4	+0.9	(▲23.6)	+2.7	(▲22.2)	+3.8	(▲20.9)	▲1.1	▲1.4	▲2.2
09/07	+0.3	+0.2	+0.3	+1.4	(▲23.2)	▲0.6	(▲23.0)	▲1.3	(▲22.2)	▲0.9	▲1.3	▲2.1
09/08	▲0.2	▲0.1	▲2.2	▲0.8	(▲20.4)	+0.3	(▲20.0)	▲1.0	(▲21.2)	▲0.9	▲0.4	▲0.7
09/09	+0.8	+0.1	▲0.2	+0.9	(▲17.1)	+0.8	(▲15.7)	+1.8	(▲16.9)	▲1.0	▲0.7	▲0.6

(出所) 米商務省

(注) 前月比伸び率。○内は季節調整値の前年比。



(出所) 米商務省、ISM

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。